

## 「喜界中学校の八月踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

喜界町立喜界中学校

### 2 学年・人数

女子生徒74人

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

ア 1学期後半からの保健体育の授業（中学校校庭）

イ 令和4年9月第2週 講師を招いて練習（中学校多目的ホール）

#### (2) 発表の日時・場所

令和4年9月11日（日）第11回喜界中学校体育大会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

#### (2) 由来

「八月踊り」は町内の37集落に伝承されている。特に、集落ごとに行われる「豊年祭」や「島あそび」の際に踊られており、集落によって唄や踊り方に違いがある。また、踊られる行事も集落により異なっている。

#### (3) 構成等

「八月踊り」の特徴として、太鼓を持つのは原則として男性であり、皆が輪になり、同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは、唄者が実際に唄いながら踊っていたが、現在ではCDを音源として用いて踊っている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

喜界島郷土研究会が中心となって、各集落の八月踊りDVDを製作した。中学校においては、集落の方に直接指導を受けるが、始めは踊りを覚えるためにこのDVDを活用している。集落によって唄や踊り方が違うため、毎年集落を決めて、その集落の八月踊りを行っている。本年度は、上嘉鉄集落の「八月踊り」の練習に取り組み、体育大会で発表した。

なお、例年、喜界高校の生徒と一緒に合同練習を行い、町民体育祭で発表しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、合同練習及び町民体育祭は中止となった。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年、該当する集落の方に事前に指導をしてもらっている。体育大会等での八月踊りの発表を行うことは、数十年と歴史は長く、八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方も多し。

## 7 取組の様子



【講師を招いての練習】



【体育大会での発表】

## 8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想や意見

### 【生徒】

- ・ 地域の方がわざわざ学校に来てくださっての練習でした。とても上手でした。
- ・ 体育の時間のみの取組でしたが、楽しく踊ることができてよかったです。
- ・ 地域ごとに踊りが違うとは聞いていましたが、喜界島の思いは一つなので引き継いでいきたいです。
- ・ 体育大会で、全員で踊ることができてよかったです。

### 【教職員】

- ・ 授業で生徒は積極的に取り組んでいた。小さい頃から慣れ親しんでいるため、取組や動きもスムーズに感じた。
- ・ 毎年、地域の方を講師として招き指導をしていただいております。生徒も自然な流れで踊りの練習に取り組んでいた。このような機会を設けることは大切だと感じる。
- ・ 異動でいろんな地域の踊りを見たりします。伝統行事を継承することはとても大切だと感じます。喜界の子どもたちは恥ずかしがらずに当たり前のように踊る姿を見て、地域に根付いているのだと感心させられました。

### 【地域の指導者】

- ・ 練習に一生懸命取り組んでくれた。体育大会では練習の成果を発揮して踊ってほしいです。また、地域の伝統芸能に興味をもって取り組んでくれることはよいことだと思うし、学校で取り扱って下さることに感謝しています。